

平成20年 9月 10日 (水)
コミュニティセンター3階会議室

第3回 自治基本条例をつくる市民会議
テーマ: 行政にはこうあってほしい 自治の課題を解消するために行政に望むこと
~小諸市の行政の責務を確認するためのワークショップ~

2 班

		テーマ1：課題と目指す姿の確認		テーマ2：誰の問題か？		テーマ3：行政の役割は？	
		a.小諸市の自治の課題について	b.小諸市の自治の目指す姿について	c.誰(市民・議会・首長・行政)が中心的な役割を果たすか		d.行政・職員の役割・責務について	
小諸市の自治の課題	小諸市の自治の目指す姿	<p>自治を行う一員としての自覚を持っている人が少ない</p> <p>「自治意識を持つ」というのは理想論だ</p>	<p>自治意識を高めることが一番重要である</p> <p>「自治意識が高い」の具体像</p> <p>自治意識の高い人がリーダーとして引っ張っている</p> <p>個人だけでなくグループで自治が行われている</p>	<p>住民・行政・首長・議会の4者の連携により役割を果たすべき</p> <p>教育機関(行政の一部)が中心的役割を果たすべき</p> <p>市民から選ばれた議会が中心的役割を果たすべき</p>	<p>市民への説明や情報公開</p> <p>市長が市民の意見を直接聞く機会を設ける(公民館等へ出向く等)</p> <p>行政が住民の意見を聞く</p>		
低下している住民の自治意識を高めたいことが必要	住民の自治意識が高い						
機運が高まっているボランティア活動や市民活動を地域の運営に活かしていくことが必要	区やボランティア活動などの市民活動が盛んで、暮らしやすい地域を市民皆でつづけている	<p>ボランティアを続けていくことが、資金・体制面でむずかしい</p> <p>グループどうしの連携をとりながら活動することが難しい</p>	<p>ボランティア等の活動が継続的に行なわれている(現状では継続させることが難しい)</p>	<p>時間に余裕のある人(意識あっても時間がない人には担えない)</p> <p>「お金を出す人/知恵を出す人/働く人」の3つの役割</p> <p>市民がそれぞれの立場で、できることをやる</p>	<p>ボランティアをするための情報を提供する(どんな活動が必要とされているか等)</p> <p>区長、議員に相談しやすい体制をつくる</p> <p>ボランティアに関する様々なことに対し、理解を深める</p> <p>市民が意見を言いやすい雰囲気、状況をつくる</p>		
安全で快適な市民生活を送るための区と行政の役割分担の再確認・再設定することが必要	市民活動は、行政の適切な支援のもとで、適切な役割分担の考えにもとづいて行われている	<p>行政サービスに対するニーズが高まる一方、それに応えるにも限度がある</p> <p>区によって役割分担ができていないところがある</p>	<p>行政はNPO、ボランティアにまかせきり</p> <p>区と行政の役割は明確になっている</p>	<p>市民・行政間同等な立場でパートナーシップが築かれている</p> <p>区に対し、役員手当て以外に事業の予算も与え、区が主体的に活動している</p> <p>実施する時は「役割分担」をイメージしてしまふ、本来は全てみんながやるべき</p>	<p>行政は状況によって「リーダーシップ」の発揮、「住民の意見を聞く」を使い分ける</p> <p>よりレベルの高い役割分担を実現するため、区との情報交換を密にする</p> <p>区に割り当てられた役割でも、適切に行なわれなければそれを行政が担う</p> <p>住民どうしの対立を解決するための調整</p>		
行政の施策・事業の効率性や効果を適切に管理することが必要	<p>行政は、市民にとって必要な事業を効率的・効果的に実施している</p> <p>市民は、行政が必要な事業を行うように、行政の計画や事業について、コミュニケーションを図っている</p>		<p>市の予算が公開されている(今後も継続させるべき)</p> <p>事業に関する情報が分かりやすく提供されている</p>		<p>事業に関する情報を分かりやすく提供する</p>		